

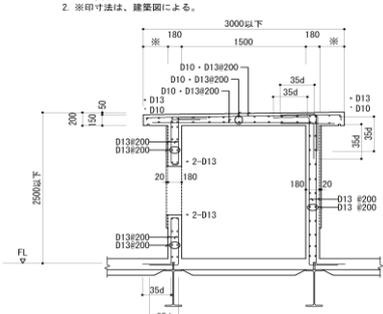
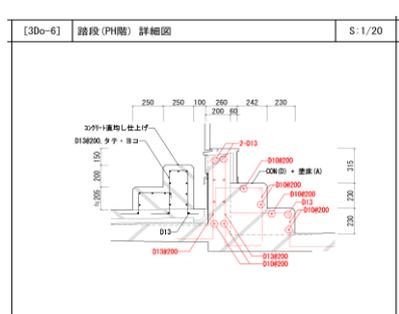
質問回答書 2

令和8年2月24日

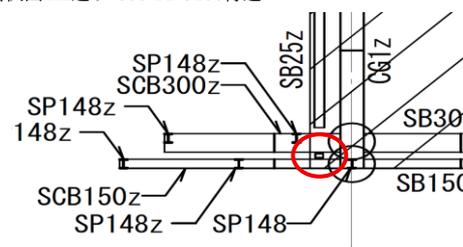
件名：熊本県総合保健センター新築工事

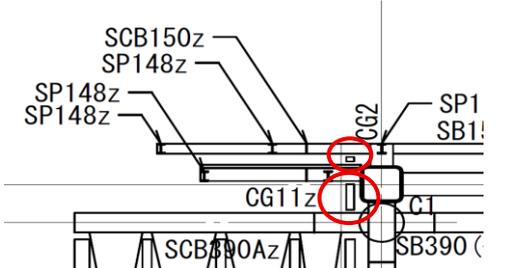
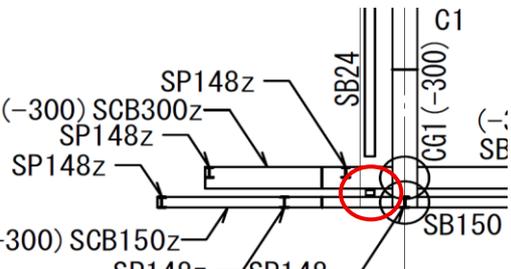
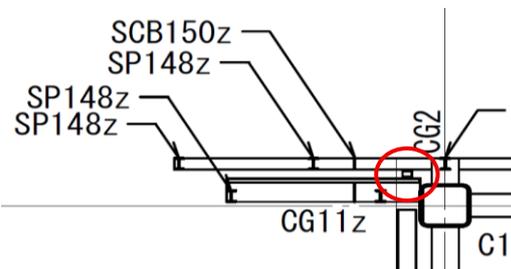
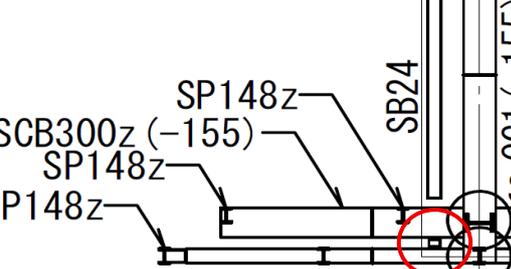
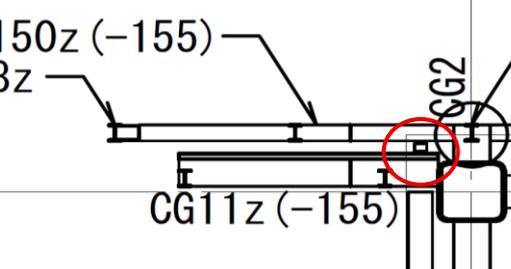
下記のうち、金抜き設計書の数量・項目に差異が生じるものについては、受注者との設計変更の協議対象とする。

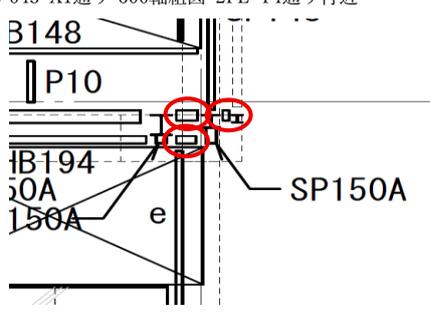
番号	表題	内容	回答
		(構造)	
		《新本館棟》	
1	設計書N0.2 A-14他	設計書・土工に切土H400程度～913.0m3の計上がありますが、現地盤～設計GL(TP+23.9)迄の切土数量を計上でしょうか。正の場合、切土範囲を併せて御指示下さい。	左記の通り現況GL～設計GL迄の切土になります。範囲は四周外周フチグより、1.00m程度離隔した範囲となります。
2	設計書No7 S-054	設計書・鉄筋に定着プレート(D32・プレートナット工法同等品)～750ヶ所の計上がありますが、施工箇所は基礎梁リストの「特記外.3.3段目の主筋端部はプレート定着を用いること」に記載の範囲と考えて宜しいでしょうか。	設計書では主筋端部にすべて見込んでおります。
3	設計書No7 S-054	上記質疑に続き、定着プレート工法を異形鉄筋で施工可能なDBヘッド定着工法に読み替えて宜しいでしょうか。	該当部位がDBヘッド定着工法の適用範囲であればよろしいです。
4	S-001 S-003	構造設計概要 ■重要事項 建物性能で、ひびわれ対策(土間コン、デッキスラブ、外壁)が適用になっていますが、構造関係特記仕様書(2)7.コンクリート工事 7-2コンクリートの仕様ではひびわれ対策の記載がありません。土間コンクリートとデッキコンクリートに、膨張材を見込むと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
5	S-016 S-067	鉄骨梁上フチの配筋要領が、鉄骨構造標準図(7)と鉄骨部材リスト(7)で相違しています。鉄骨構造標準図(7)を正と考えて宜しいでしょうか。	鉄骨部材リスト(1)を正とお考え下さい。
6	S-016 S-067	鉄骨構造標準図(7) 10.デッキプレート取合要領 10-4ひび割れ対策で、梁上補強筋はDS16(合成スラブ)にのみ配筋すると記載がありますが、鉄骨部材リスト(2)デッキスラブリストにDS16が不明です。梁上補強筋は適用無しと考えると宜しいでしょうか。	DS16は誤記となります。不要と考えてよろしいです。
7	A-03	確認ですが、防蟻処理(土壌)は不要と考えると宜しいでしょうか。	不要です。
8	S-032 A-101、103	基礎・ピット伏図で、捨てコンピットの詳細が不明です。捨てコンクリートt=50+再生クラッシュランt=60を見込むと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。 捨てコンクリートt=50+再生クラッシュランt=60 でお見込みください。
9	A-51 S-032	一般共通事項6地中梁点検口(人通孔)はφ600特殊防水紙チューブと記載がありますが、基礎・ピット伏図より人通孔はφ660も使用しています。φ660についても特殊防水紙チューブと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。 φ660についても特殊防水紙チューブとお考え下さい。
10	S-032 S-033	Y3-Y4・X6-X7間のFB310Aの梁天端が、下記の様に相違しています。1階床梁伏図を正と考えると宜しいでしょうか。 □基礎・ピット伏図 c-SEC：FL-300 □1階床梁伏図：FL-10(左側スラブ天端FL-10合わせ)	よろしいです。 1階床梁伏図を正とお考えください。
11	S-033 S-041他 A-101他	各軸組図・各矩計図に地中梁天端打増範囲の記載がありますが、打増厚が1階床梁伏図のスラブ天端レベルと相違しています。各軸組図・各矩計図を正と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。 別紙資料を添付します。
12	S-033 A-69 A-103	Y3+7575-Y4・X7-2500間のピロティのスラブ天端が下記の様に相違しています。1階床伏図を正と考えると宜しいでしょうか。 □1階床梁伏図：FL-300 □1階床伏図：FL-10 □矩計図(3)：FL-120	FL-120とします。
13	A-58 S-033	1階、X2・Y3付近の床下点検口の有無が、下記の様に相違しています。平面図(2)-1階を正と考えると宜しいでしょうか。 □1階床梁伏図：床下点検口無し □平面図(2)-1階：床下点検口有り	よろしいです。 平面図(2)-1階を正とお考えください。
14	S-034	2階床梁伏図で、X6-X7間に長辺短辺が逆転しているスラブがありますが、特に主筋方向を示す印の記載がありません。該当のスラブは、主筋方向をY方向と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。 X6-X7間で短辺長辺が逆転しているスラブは主筋方向をY方向とお考えください。

番号	表題	内容	回答
15	A-56 A-69 S-035	休養室(1)(2)のスラブレベルが、下記の様に相違しています。 FL-10を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 内部仕上表(5) : FL-100 <input type="checkbox"/> 3階床伏図 : FL-10 <input type="checkbox"/> 3階床梁伏図 : FL-10	よろしいです。 FL-10を正とお考え下さい。
16	S-051	基礎リストでF4・F4A・F5・F6・F6A・F6Bに太物鉄筋(D19以上)が使用されていますが、各配筋図より継手は重ね継手と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 重ね継手でも可とお考え下さい。
17	S-034 A-112~114	2階設備基礎で、MR(2-1)~MR(2-4)の設備基礎の寸法が、下記の様に相違しています。2階床梁伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 2階床梁伏図 平面詳細図 <input type="checkbox"/> MR (2-1) : 1240*2490*150 2200*1000*150 <input type="checkbox"/> MR (2-2) : 1000*2170*150 2200*1000*150 <input type="checkbox"/> MR (2-3) : 700*1720*150 1750* 700*150 <input type="checkbox"/> MR (2-4) : 700*1720*150 1750* 700*150	<input type="checkbox"/> MR (2-1) : 2500*1250*150 <input type="checkbox"/> MR (2-2) : 2200*1000*150 <input type="checkbox"/> MR (2-3) : 1750* 700*150 <input type="checkbox"/> MR (2-4) : 1750* 700*150 としてください。
18	S-036 A-61	キュービクル基礎の寸法が下記の様に相違しています。 PH階床梁伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> PH階床梁伏図 : 600*14000*600 <input type="checkbox"/> 平面詳細図-PH階 : 600*13500*600	宜しいです。
19	S-036 A-61	動力盤基礎の有無が、下記の様に相違しています。 平面詳細図-PH階を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> PH階床梁伏図 : サイズ 不明(伏図には記載有り) <input type="checkbox"/> 平面詳細図-PH階 : 400*2400 H600	宜しいです。
20	A-253	部分詳細図 外部(3)[3Do-4]PS立上り(D)詳細図(1)にRC部材の記載がありますが、配筋要領が不明です。御指示下さい。	下図の配筋要領にてお見込み下さい。 特記外1. 誘養目地#1000内外に設ける(但し、設置位置は履踏とずらすこと)。(欠損率20%以上) 2. ※印寸法は、建築図による。 
21	A-253	部分詳細図 外部(3)[3Do-6]階段(PH階)詳細図の屋内側にRC階段の記載がありますが、配筋要領が不明です。御指示下さい。	下図の配筋要領にてお見込み下さい。 
《車庫棟1》			
22	A-504 A-505	基礎コンクリート強度が、下記の様に相違しています。基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 車庫棟(1)標準仕様書 : FC21 <input type="checkbox"/> 車庫棟(1)基礎伏図 : FC24	車庫棟 (1) については基礎伏図を正として、Fc24として下さい。
23	A-505	車庫棟(1)基礎伏図に地中梁リストの記載がありますが、FG2が二箇所記載があります。X1通りの地中梁リストをFG1と読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです、FG1として下さい。
24	A-505	車庫棟(1)基礎伏図に地中梁リストの記載がありますが、梁幅の記載がありません。下記程度と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> FG4 : 300*1300 <input type="checkbox"/> FG5 : 300*1300	宜しいです。

番号	表題	内容	回答
25	A-505	<p>地中梁FG1～5の配筋要領が不明です。 下記の様に見込むと考えて宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>FG1：主筋D25-3/3、 ST-□-D13@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG2：主筋D25-3/3、 ST-□-D13@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG3：主筋D25-3・2/3・3、ST-□-D13@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG4：主筋D25-3・1/1・3、ST-□-D13@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG5：主筋D25-3/3、 ST-□-D13@200、腹筋D10-6</p>	<p><input type="checkbox"/>FG1：主筋D22-3/3、 ST-□-D10@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG2：主筋D22-3/3、 ST-□-D10@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG3：主筋D22-3・2/3・2、ST-□-D10@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG4：主筋D22-3・1/3・1、ST-□-D10@200、腹筋D10-6 <input type="checkbox"/>FG5：主筋D22-3/3、 ST-□-D10@200、腹筋D10-6 上記にて確認しております。</p>
26	A-505	<p>立上(W120)の配筋要領が不明です。下記の様に見込むと考えて宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>縦横共D10@200-S、端部・頭頂部D13-1</p>	<p>腰壁の高さがFL+400の場合は、D10@200（縦横共）、頭部については、2-D10としております。</p>
27	A-505	<p>基礎伏図で柱符号が不明です。下記の様に見込むと考えて宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>Y1通り・Y3通り：C1 <input type="checkbox"/>Y2通り：C2</p>	<p>リストを訂正し、全てCとしてご考慮下さい。 （梁伏図の柱符号と同じ）</p>
28	A-505	<p>柱脚部の保護コンクリートの詳細が不明です。 下記程度で見込むと考えて宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>補強筋：D13@200 <input type="checkbox"/>HOOP：D10@100、TOP二重巻き</p>	<p>宜しいです。</p>
29	A-505	<p>上記に続き、アンカーボルト及びベースプレートが不明です。 柱脚部の詳細を御指示下さい。</p>	<p>BPL：310x500x36(BxHxt)・アンカー径：M30(ABR)にて検討を行っています。</p>
30	A-505	<p>基礎伏図の地中梁リストで、地中梁上部に打増しコンクリート(補強筋必要)と記載がありますが、補強要領が不明です。御指示下さい。</p>	<p>別紙資料の鉄筋コンクリート構造配筋詳細図(2)の8.柱・梁増打コンクリート補強(2)梁の打増し補強の参照をお願い致します。 スラブ補強のL型補強筋については、スラブ筋と同径・同ピッチにてお願い致します。</p>
31	A-505	<p>基礎伏図の地中梁リストで、地中梁側面に打増しコンクリートの記載がありますが、配筋要領が不明です。打増し内の補強筋は不要と考えて宜しいでしょうか。 必要な場合、補強要領を御指示下さい。</p>	<p>今回の腰壁については厚120としています。その場合、基礎梁横のフカシについては、100となりますが、弊社では厚さ100mmまでは無筋としております。 またご要望等に腰壁厚を150mmとする事も可能ですが、その場合は、フカシ部については、補強筋を必要としております。</p>
		<p>《車庫棟2》</p>	
32	A-511 A-512	<p>基礎コンクリート強度が下記の様に相違しています。基礎伏図を正と考えると宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>車庫棟(2)標準仕様書：FC21 <input type="checkbox"/>車庫棟(2)基礎伏図：FC24</p>	<p>車庫棟(2)については基礎伏図を正として、Fc24として下さい。</p>
33	A-512	<p>車庫棟(2)基礎伏図に地中梁リストの記載がありますが、梁幅の記載がありません下記程度と考えると宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>FG4：350*2400 <input type="checkbox"/>FG5：350*2400</p>	<p>宜しいです。</p>
34	A-512	<p>地中梁FG1～5の配筋要領が不明です。 下記の様に見込むと考えて宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>FG1：主筋D25-3/3、 ST-□-D13@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG2：主筋D25-3/3、 ST-□-D13@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG3：主筋D25-3・3/3・3、ST-□-D13@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG4：主筋D25-3/3、 ST-□-D13@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG5：主筋D25-3・3/3・3、ST-□-D13@200、腹筋D10-14</p>	<p><input type="checkbox"/>FG1：主筋D22-3/3、 ST-□-D10@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG2：主筋D22-3/3、 ST-□-D10@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG3：主筋D22-3・3/3・3、ST-□-D10@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG4：主筋D22-3/3、 ST-□-D10@200、腹筋D10-14 <input type="checkbox"/>FG5：主筋D22-3・3/3・3、ST-□-D10@200、腹筋D10-14 上記にて確認しております。</p>
35	A-512	<p>立上(W120)の配筋要領が不明です。下記の様に見込むと考えて宜しいでしょうか</p> <p><input type="checkbox"/>縦横共D10@200-S、端部・頭頂部D13-1</p>	<p>腰壁の高さがFL+400の場合は、D10@200（縦横共）、頭部については、2-D10としております。</p>

番号	表題	内容	回答
36	A-512	柱脚部の保護コンクリートの詳細が不明です。 下記程度で見込むと考えて宜しいでしょうか <input type="checkbox"/> 補強筋：D13@200 <input type="checkbox"/> HOOP：D10@100、TOP二重巻き	宜しいです。
37	A-512	上記に続き、アンカーボルト及びベースプレートが不明です。 柱脚部の詳細を御指示下さい。	BPL：340x630x36(BxHxt)・アンカー径：M30(ABR)、(C1・C2共)にて検討を行っています。
38	A-512	基礎伏図の地中梁リストで、地中梁上部に打増しコンクリート(補強筋必要)と記載がありますが、補強要領が不明です。御指示下さい。	別紙資料の鉄筋コンクリート構造配筋詳細図(2)の8.柱・梁増打コンクリート補強(2)梁の打増し補強の参照をお願い致します。 スラブ補強のL型補強筋については、スラブ筋と同径・同ピッチにてお願い致します。
39	A-512	基礎伏図の地中梁リストで、地中梁側面に打増しコンクリートの記載がありますが、配筋要領が不明です。打増し内の補強筋は不要と考えて宜しいでしょうか。 必要な場合、補強要領を御指示下さい。	今回の腰壁については厚120としています。その場合、基礎梁横のフカシについては、100となりますが、弊社では厚さ100mmまでは無筋としております。 またご要望等に腰壁厚を150mmとする事も可能ですが、その場合は、フカシ部については、補強筋を必要としております。
		(鉄骨)	
40	S-034~036 A-352 A-355、356	エレベーター周りの鉄骨が下記の様に相違しています。2階床梁伏図・3階床梁伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 <EV(1)> <input type="checkbox"/> 2階床梁伏図 SB24、SB19 <input type="checkbox"/> 3階床梁伏図 SB39、SB19 <input type="checkbox"/> EV詳細図 EV(1-2)平面図(2階、3階) SB70、SB40 <EV(2)> <input type="checkbox"/> 2階床梁伏図、3階床梁伏図 SB24、SB700 <input type="checkbox"/> EV詳細図 EV(2-2)平面図(2階、3階) SB70、SB40	よろしいです。 2階床梁伏図・3階床梁伏図を正とお考え下さい
41	S-034~035 S-041~042	2階~3階 X1通り Y1通り~Y2通り・Y3通り~Y4通り及びX7通り Y1通り~Y2通りの大梁 G2の継手位置が、下記の様に相違しています。X1通り軸組図・X7通り軸組図の2箇所を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 2階床梁伏図・3階床梁伏図 4箇所 <input type="checkbox"/> X1通り軸組図・X7通り軸組図 2箇所	よろしいです。 X1通り軸組図・X7通り軸組図の2箇所を正とお考えください。
42	S-034 S-042 S-046	Y1通り-3100 X7通りの間柱符号が、下記の様に相違しています。 SP148を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 2階床梁伏図 SP294 <input type="checkbox"/> 軸組図(2) X7通り軸組図 SP148 <input type="checkbox"/> 外装受け軸組図(2) Y1通り-3100軸組図 SP148	よろしいです。 SP148を正とお考えください。
43	S-034~036 S-044	2階~PH階 Y4通り X1通り-2420付近~X1通り及びX7通り~X7通り+2420付近の間柱符号が、下記の様に相違しています。 2階床梁伏図~PH階床梁伏図のSP148zを正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 2階床梁伏図~PH階床梁伏図 SP148z <input type="checkbox"/> 軸組図(4) Y4通り軸組図 SP148	よろしいです。 SP148zを正とお考えください。
44	S-034~036 S-045	各階X1通り-600 Y1-3100付近及びY4+600付近に、符号のない鉄骨梁の記載があります。符号を御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 2階伏図 X1通り-600 Y1-3100付近 	特記外事項に記載の通り、SB19とお考え下さい。

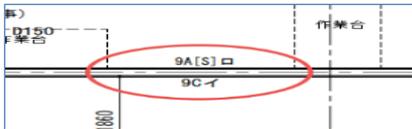
番号	表題	内容	回答
		<p>□2階伏図 X1通り -600 Y4+600付近</p> 	<p>特記外事項に記載の通り、SB19とお考え下さい。</p>
		<p>□3階伏図 X1通り -600 Y1-3100付近</p> 	<p>特記外事項に記載の通り、SB19とお考え下さい。</p>
		<p>□3階伏図 X1通り -600 Y4+600付近</p> 	<p>特記外事項に記載の通り、SB19とお考え下さい。</p>
		<p>□PH階伏図 X1通り -600 Y1-3100付近</p> 	<p>特記外事項に記載の通り、SB19とお考え下さい。</p>
		<p>□PH階伏図 X1通り -600 Y4+600付近</p> 	<p>特記外事項に記載の通り、SB19とお考え下さい。</p>

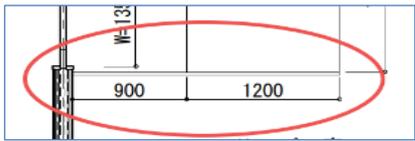
番号	表題	内容	回答
		<input type="checkbox"/> S-045 X1通り-600軸組図 2FL Y4通り付近 	特記外事項に記載の通り、SB19とお考え下さい。
45	S-034~036 S-041~042 S-044~046,048	<p>庇(2)・袖壁部及び日射制御バルコニーの外部と接しない符号にz付きがあります。全て図面通りの符号と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>また外部と接しない部分を溶融亜鉛メッキとしない場合は、伏図及び軸組図等に再度符号を御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p> <p>庇・外部袖壁・バルコニー上部の部材は溶融亜鉛めっきとお考え下さい。</p>
46	S-034~036 S-066	<p>2階床梁伏図~PH階床梁伏図 Y1通り-3100付近 X1通り~X1通り+2500付近及びX6通り+7800~X7通りにSB300z・SB300の記載がありますが、鉄骨部材リスト(1) 鉄骨部材リストにありません。</p> <p>下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>SB300 H-300×300×10×15</p> <p><input type="checkbox"/>SB300z H-300×300×10×15</p> <p><input type="checkbox"/>SB300・SB300z接合部 G.PI-9 HTB 3-M20</p>	<p>下記のようにお考え下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>SB300 H-300x300x10x15</p> <p><input type="checkbox"/>SB300z H-300x300x10x15</p> <p><input type="checkbox"/>SB300・SB300z接合部 G.PI-12 HTB 3-M20</p>
47	S-034~036 S-067	<p>2階床梁伏図~PH階床梁伏図 特記なき限り下記によるにーは大梁座屈止めを示し、S-064図による。と記載がありますが、S-067図 鉄骨部材リスト(2) 大梁座屈止め取付要領図 方杖付きの場合と読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p> <p>S-067図に読み替えるものとお考えください。</p>
48	S-036 S-065	<p>RH階床梁伏図 X1通り+2500付近 Y4通り付近にSB800 剛接合部に継手の記載がありますが、鉄骨梁継手表に継手詳細がありません。下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>F.J.PL(A) 19×300×620</p> <p><input type="checkbox"/>2F.J.PLs(B) 19×110×620</p> <p><input type="checkbox"/>F.TB 12-M20</p> <p><input type="checkbox"/>2W.J.PLs 16×620×290</p> <p><input type="checkbox"/>W.HTB 14-M20</p>	<p>下記のようにお考え下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>F.J.PL(A) 19x300x710</p> <p><input type="checkbox"/>2F.J.PLs(B) 19x110x710</p> <p><input type="checkbox"/>F.TB 14-M22</p> <p><input type="checkbox"/>2W.J.PLs 12x620x290</p> <p><input type="checkbox"/>W.HTB 14-M22</p>
49	S-037 S-041 S-075	<p>PHR階 X1通り Y1通り-3100の小梁符号が、下記のように相違しています。</p> <p>SCB29を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>PHR階床梁伏図 SCB29</p> <p><input type="checkbox"/>軸組図(1) X1通り軸組図 SCB24</p> <p><input type="checkbox"/>鉄骨架構詳細図 SCB29</p>	<p>よろしいです。</p> <p>SCB29を正とお考え下さい。</p>
50	S-037 S-042	<p>PHR階 X7通り Y1-3100及びY4+600の小梁符号が、下記のように相違しています。SCB29を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>PHR階床梁伏図 SCB29</p> <p><input type="checkbox"/>軸組図(2) X7通り軸組図 SCB24</p>	<p>よろしいです。</p> <p>SCB29を正とお考え下さい。</p>

番号	表題	内容	回答
51	S-045 S-048	下記にRC取合の開口補強がありますが、接合部が不明です。 ベースモルタル・ベースプレート及びアンカーボルト等詳細を御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 外装受け軸組図(1) X1通り-600軸組図 1FL 開口補強e <input type="checkbox"/> 外装受け軸組図(1) X2通り-2800軸組図 X6通り+2800軸組図 3FL 開口補強b <input type="checkbox"/> 外装受け軸組図(4) Y4通り+600軸組図 1FL 開口補強e <input type="checkbox"/> 外装受け軸組図(4) Y3通り+6600軸組図 PHFL 開口補強c	下記の様にお考え下さい。 開口補強b L-65x65x6 <input type="checkbox"/> B.PL-12x200x125(SS400) <input type="checkbox"/> A.BOLT 2-M16(L=320)(SS400) フック付ダブルナット締め <input type="checkbox"/> 無収縮モルタル t=30 開口補強c L-75x75x6 <input type="checkbox"/> B.PL-12x200x125(SS400) <input type="checkbox"/> A.BOLT 2-M16(L=320)(SS400) フック付ダブルナット締め <input type="checkbox"/> 無収縮モルタル t=30 開口補強e <input type="checkbox"/> -100x100x3.2 <input type="checkbox"/> B.PL-12x300x150(SS400) <input type="checkbox"/> A.BOLT 2-M16(L=320)(SS400) フック付ダブルナット締め
52	S-046 S-066	外装受け軸組図(2) Y1通り-3100軸組図 2FL-800付近にHB148zの記載がありますが、鉄骨部材リストにありません。 部材はHB148に倣い、溶融亜鉛メッキと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 部材はH-148x150x6x9(SS400), GPL-6, HTB 2-M16(F8T)とし、溶融亜鉛めっきとお考え下さい。
53	S-064~065	鉄骨梁継手表に下記の記載がありますが、鉄骨大梁リストに倣いSM490Aと考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> H-488×300×11×18(SM490) <input type="checkbox"/> H-488×300×11×18(SM490) 溶融亜鉛メッキ <input type="checkbox"/> H-900×300×16×28(SM490) 溶融亜鉛メッキ	よろしいです。 SM490Aとお考え下さい。
54	S-066 S-073~074	鉄骨階段詳細図(1)2階・3階床梁伏図及び鉄骨階段詳細図(2)2階床梁伏図にSCB194の記載がありますが、鉄骨部材リスト(1)鉄骨部材リストにありません。 H-194×150×6×9(SS400)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 H-194x150x6x9(SS400)とお考え下さい。
55	S-066 S-080~081	鉄骨部材リスト(1) SCB150z 仕口欄にS-081図によると記載がありますが、S-081図はEV・小荷物専用昇降機 伏図・軸組図・リストです。 S-080図と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 S-080図に読み替えるものとお考え下さい。
56	S-072 A-351~358	EV(1)・EV(2)及び小荷物専用昇降機 1FL 三方枠下端とRCの取合が不明です。 ベースモルタル・ベースプレート及びアンカーボルト等詳細を御指示下さい。	下記の様にお考え下さい。 ELV三方枠 L-75x75x6 <input type="checkbox"/> B.PL-12x200x125(SS400) <input type="checkbox"/> A.BOLT 2-M16(L=320)(SS400) フック付ダブルナット締め <input type="checkbox"/> 無収縮モルタル t=30
57	S-072 A-61	設備架台 H形鋼のサイズが下記の様に相違しています。 雑鉄骨詳細図 設備架台詳細図のH-150×150×7×10を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 雑鉄骨詳細図 設備架台詳細図 H-150×150×7×10 <input type="checkbox"/> 平面図(5) -PH・PHR階 H-148×100×6×9 (設計書はH-150×150×7×10となっています)	よろしいです。 H-150x150x7x10を正とお考え下さい。
58	S-074 A-106	階段1 階段受け(2FL・3FL梁下がセットプレート)ボルトの本数が、下記の様に相違しています。 鉄骨階段詳細図(SK2)の4本を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 鉄骨階段詳細図(SK2) X7通り-2500 2階 4本 <input type="checkbox"/> 階段室(1)断面詳細図(1) X6通り+2575付近 3階 及びX7-2500 2階 2本	よろしいです。 4本を正とお考え下さい。
59	S-075	鉄骨架構詳細図 X1鉄骨架構詳細図の通り名をY1及びY2と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 Y1及びY2に読み替えるものとお考え下さい。

番号	表題	内容	回答
60	S-077	ハイライト立上り詳細図 横胴縁のガセットプレートが、下記の様に相違しています。鉄骨部材リストのG.PL-4.5を正と考えて宜しいでしょうか。その場合、胴縁取合詳細図がセットプレート上部 補強プレートもPL-4.5と読み替えて宜しいでしょうか。 □鉄骨部材リスト G.PL-4.5 □胴縁取合詳細図 PL-6	よろしいです。 GPL及び補強PL共にPL-4.5に読み替えるものとお考え下さい。
61	S-077	ハイライト立上り詳細図 胴縁取合い詳細図 立上り天端土台 □-100×100×2.3下にモルタルのような図示がありますが、無収縮モルタル厚20を通して設置すると考えて宜しいでしょうか。	無収縮モルタル厚30を通して設置するとお考え下さい。
62	S-078	目隠し壁詳細図にSP175z及びSB194zの記載がありますが、材種はSS400と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 SS400とお考え下さい。
63	S-078 S-036 A-61	目隠し壁詳細図と平面図(5) PH,PHR階で目隠し壁柱の位置が相違しています。 目隠し壁詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 意匠図正の場合、ブレース位置等を御指示下さい。 (設計書はモルタル43か所、アンカーボルト172本となっています)	よろしいです。 目隠し壁詳細図を正とお考え下さい。
64	S-081 A-358	小荷物専用昇降機 間柱及び機械台受梁が下記の様に相違しています。全てEV・小荷物専用昇降機 伏図・軸組図・リスト図を正と考えて宜しいでしょうか。 <EV・小荷物専用昇降機 伏図・軸組図・リスト> □間柱 H-200×200×8×12 □機械台受架 H-200×200×8×12 <EV詳細図 小荷物専用昇降機詳細図> □間柱 H-100×100×6×8 □機械台受梁 H-200×100×5.5×8	よろしいです。 構造図を正とお考え下さい。
65	A-358	EV詳細図 小荷物専用昇降機 昇降路平面図に中間ビーム及び三方枠取付鋼材の記載がありますが、材種及び接合部は下記の様に考えて宜しいでしょうか。 □材種 SSC400(C-100×50×20×3.2) □接合部 G.PL-4.5(SS400) 普通ボルト2-M12	よろしいです。 ご質問通りの材種及び接合部とお考え下さい。
66	S-101～102	大梁符号が下記の様に相違しています。 SG211・SCG211をG211・CG211と読み替えて宜しいでしょうか。 □おもいやり駐車場 伏図・軸組図 G211・CG211 □おもいやり駐車場 リスト 鉄骨大梁リスト SG211・SCG211	よろしいです。 ご質問通りの符号とお考え下さい。
67	S-013 S-076	鉛直ブレース詳細図にて、大梁天端にスタッドボルトh=80の記載がありますが、範囲が不明です。その他は鉄骨構造標準図(4)の7.梁加工標準7-1スタッドコネクタ取合要領に倣うと考えて宜しいでしょうか。	全て鉄骨構造標準図(4)の7-1スタッドコネクタ取合要領に倣うとお考えください。よって、鉛直ブレース詳細図に示すスタッドボルト高さhは100に読み替えるものとお考え下さい。
68	S-013 S-075～076	上記質疑の場合、鉄骨架構詳細図2FL G2梁幅350のスタッドボルトが2列となっていますが、3列と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 3列に読み替えるものとお考え下さい。
		(数量書に対する質疑)	
		《新本館棟》	
69	N0.2 S-031	設計書に杭伏図でP3T杭(中杭・下杭)の仕様が下記の様に相違しております。数量書を正として宜しいでしょうか。 □数量書：HF-PHC85-B種(T100) □杭伏図：HF-PHC85-C種(T100)	杭伏図を正として下さい。
70	設計書N0.2 S-031	設計書に杭頭補強筋 D41H-L SD490 L=1230 が497.0組と記載がありますが、杭伏図より、517.0本と読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
		《車庫棟1》	
71	設計書No.5 A-505	設計書 基礎・土間工事で埋戻し(場外より)73.0m3の計上がありますが基礎伏図より判断して埋戻し数量が少ないと思われる。数量の根拠をご教示頂けないでしょうか。	外周部の埋め戻しのみ場外からの埋め戻しとして見込んでいます。
72	設計書No.5	設計書 基礎・土間工事で埋戻し(場外より)と記載ありますが、埋戻し土は本体工事と同じく発生土(B種)と読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	表題	内容	回答
73	設計書No.5 A-505	設計書 基礎・土間工事に捨てコンクリートt=100(地中梁下)の計上がありますが、基礎伏図でt=50と相違しています。基礎伏図のt=50を正と考えて宜しいでしょうか。	t = 100を見込んでください。
74	設計書No.5 A-503・505	設計書 基礎・土間工事に切込砕石t100、調整砂t20、ボリアムt0.2の計上がありますが、矩計図等に記載がありません。設計書計上通り土間下地業として見込んで宜しいでしょうか。	別紙資料を参照の上、見込んでください。
75	設計書No.6 A-505	設計書 基礎・土間工事でコンクリートFC21Nの計上がありますが、基礎伏図ではFC24と相違しています。基礎伏図FC24で見込んで宜しいでしょうか。	Fc 2 4としてください。
76	設計書No.4 A-504,505	設計書 地業工事にジオフォーム・発泡排水材料等の計上がありますが、基礎伏図等に記載がありません。地業詳細を御指示下さい。	別紙資料を参照ください。
77	設計書No.5 A-501,505	設計書 基礎・土間工事でボリアムが延床面積(283.54m ²)で計上の様ですが、基礎伏図より地中梁内法面積≒234.0m ² 程度で見込んで宜しいでしょうか。	別紙資料を参照の上、見込んでください。
		《車庫棟2》	
78	設計書No.16 A-512	設計書 基礎・土間工事で埋戻し(場外より)187.0m ³ の計上がありますが基礎伏図より判断して埋戻し数量が少ないと思われます。数量の根拠をご教示頂けないでしょうか。	外周部の埋め戻しのみ場外からの埋め戻しとして見込んでいます。
79	設計書No.16 A-512	設計書 基礎・土間工事で埋戻し(場外より)と記載ありますが、埋戻し土は本体工事と同じく発生土(B種)と読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
80	設計書No.16 A-510	設計書 基礎・土間工事に捨てコンクリートt=100(地中梁下)の計上がありますが基礎伏図でt=50と相違しています。基礎伏図のt=50を正と考えて宜しいでしょうか。	t = 100を見込んでください。
81	設計書No.16 A-510	設計書 基礎・土間工事に切込砕石t100、調整砂t20、ボリアムt0.2の計上がありますが、矩計図等に記載がありません。設計書計上通り土間下地業として見込んで宜しいでしょうか。	別紙資料を参照の上、見込んでください。
82	設計書No.16 A-510	設計書 基礎・土間工事でコンクリートFC21Nの計上がありますが基礎伏図ではFC24と相違しています。基礎伏図FC24で見込んで宜しいでしょうか。	Fc 2 4としてください。
83	設計書No.15 A-511,512	設計書 地業工事にジオフォーム・発泡排水材料等の計上がありますが、基礎伏図等に記載がありません。地業詳細を御指示下さい。	別紙資料を参照ください。
84	設計書No.16 A-508,512	設計書 基礎・土間工事でボリアムが延床面積(600.0m ²)で計上の様ですが基礎伏図より地中梁内法面積≒508.0m ² 程度で見込んで宜しいでしょうか。	別紙資料を参照の上、見込んでください。
		(鉄骨)	
85	本体鉄骨、S-043～044	ブレース(V1)が長さ別に計4本計上されていますが、Y1～Y4通りに2本ずつで、計8本必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
86	本体鉄骨	ABT(SS400)ABT M20 L=320 WNの記載がありますが、設置個所が不明です。設置個所を御指示下さい。	間柱、階段柱 M16でお願いします。
87	本体鉄骨、S-058	ベースバック H7030-258V2の記載がありますが、H7030-28V2と思われます。H7030-28V2に読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
88	本体鉄骨	スタッドボルト DS18部はH=130と思われますが、16φ19φ共に項目が無いようです。御指示下さい。	H=150の中に含まれています。
89	本体鉄骨、S-081	ベース下鉄材t50 250×250が12か所計上されていますが、SP200Aの4か所以外の8か所の設置個所が不明です。設置個所を御指示下さい。	昇降機ようです
90	おもいやり駐車場、S-102	水平ブレースHV201がM20と記載がありますが、S-102図ではM12です。御指示下さい。	水平ブレースはM20が正とします。
		意匠	
		(外部)	
91	A-252	部分詳細図 外部(2)/外壁D 詳細図で漏水の為、外壁打継目地・外壁伸縮目地は2重シールを見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	表題	内容	回答
		(内部)	
92	A-53	内部仕上表(2) 中木：床材立上げと記載ありますが端部に、塩ビ製見切縁を見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
93	A-53 A-66	1階廊下(1-6)の天井仕上が下記のように相違しています。内部仕上表(2)を正と考えて宜しいでしょうか。 □・内部仕上表(2)：GB-NC(T)t9.5 □・天井伏図(1)-1階：GB-R t12.5+DR t9	宜しいです。
94	A-121 A-123 A-125	各WC詳細図で、下記WCの備考欄に洗面器一体カウンターの記載がありますが、平面詳細図に図示がありません。誤記と考えて宜しいでしょうか。 □WC詳細図(2)-1階：WWC(1-2) □WC詳細図(4)-2階：WWC(2-2) □WC詳細図(6)-3階：WWC(3-2)	宜しいです。
95	A-55 A-67	2階車いす用前処置室WCの天井仕上が下記のように相違しています。天井伏図(2)を正と考えて宜しいでしょうか。 □・内部仕上表(4)：GB-NC(T)t9.5 □・天井伏図(2)-2階：GB-R t12.5+DR t9	宜しいです。
96	A-55 A-67 A-114	内部仕上表(4)で2階内視鏡看護師更衣室-備考欄にカーテンレールの記載がありますが、設置範囲が不明です。御指示下さい。	不要です。
97	A-67	天井伏図(2)-2階で内視鏡兼前処置室に点滴レールの記載がありますが、点滴レール=1.0m,点滴ハグ-600mm(ストレット)を1本見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
98	A-55 A-119 A-266	3階休憩コーナーの床仕上が下記のように相違しています。 TCP(B)を正と考えて宜しいでしょうか。 □内部仕上表(4)：TCP(B) □平面詳細図(3-4)-3階：TCP(B) □休憩コーナー・食堂詳細図(1)：EP	宜しいです。
99	A-267	休憩コーナー・食堂 詳細図(2)(3)でミニキッチン上部垂壁に不燃木見切(小国杉)の記載がありますが、表面仕上が不明です。SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。	UC塗装として下さい。
100	A-120～125	WC詳細図で下記項目の参考メーカー品番を御指示下さい。 □シングルフック □小便器用手摺 □L型手摺 □ベビーチェア □収納式多目的シート □フィッティングボード □幼児用手摺 □ベビーシート	□シングルフック：TOTO:YKH22 □小便器用手摺：TOTO:T115CU3R □L型手摺：TOTO:T112CL12 □ベビーチェア：TOTO:YKA15R □収納式多目的シート：TOTO:EWC520AR □フィッティングボード：TOTO:YKA41 □幼児用手摺：TOTO:YYB10 □ベビーシート：TOTO:YKA25N 上記とします。
101	A-53	内部仕上表(2)でWC(1-1)の壁仕上がM-NFDB(抗菌・防霉・不燃化粧板)ですが、端部の納まりが不明です。出隅、入隅、中木取合にアルミジョイナーを見込むと考えて宜しいでしょうか。	出隅、中木取合：アルミジョイナー 入隅、パネル目地：シリコンシーリング 上記とします。
102	A-111 A-701	平面詳細図(1-4)1階で臨床検査室-廊下(1-5)間の間仕切が下図のC(耐火壁)とA(一般壁)と記載がありますが、法規チェック図(1)1階より A(一般壁)のみと考えて宜しいでしょうか。 	宜しいです。

番号	表題	内容	回答
103		<p>平面詳細図(3-1)3階で、サーバ-室のスロープ部の段差部分に上り框ステルス$t=2.0$20*100程度を見込むと考えると宜しいでしょうか。</p> 	宜しいです。
104	A-402	放射線防護工事 詳細図(2)_D-3.放射線防護室 断面詳細図(耐火壁)で、鉛ボード上の「GBt (建築工事)※天井まで」のボード厚みは $t=12.5$ と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
105	A-54 A-112	<p>2階骨密度測定室の床仕上が下記の様に相違しています。内部仕上表(3)を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>内部仕上表(3)：耐動荷重性床シート</p> <p><input type="checkbox"/>平面詳細図(2-1)-2階：抗ウレクス性床シート</p>	宜しいです。
106	A-401.402	放射線防護工事 詳細図(2)_D-10.鉄骨梁部防護詳細図で、梁型のサイズ、下地が不明です。下地はLGS65型、サイズは $W420 \times H530$ 程度と考えると宜しいでしょうか。又、具体的な施工範囲が不明です。胃X線室(3) X2通りのみ該当すると考えると宜しいでしょうか。他に必要な範囲がありましたら御指示下さい。	<p>該当箇所は別紙参照。</p> <p>サイズは該当する梁サイズから計上してください。</p>
107	A-54 A-112	内部仕上表(3)で、2階胃X線室(3)の備考欄に「ライニング 面台D150+手洗いの記載がありますが、平面詳細図に図示がありません。ライニング 面台+手洗いは不要と考えると宜しいでしょうか。	不要です。
108	A-403	医療機器架台 詳細図_天井吊り医療機器架台梁またぎ 基本図で、梁またぎがどの範囲を示しているのか不明です。RC梁の記載となっておりますが、鉄骨梁のため、該当無しと考えると宜しいでしょうか。必要な場合、施工範囲を御指示下さい。	内視鏡室(4)(5)に該当します。梁はRC梁をH鋼 SB700に置き換えて計上してください。
109	A-255	<p>部分詳細図 内部(2)-[2Di-11]天井見切り(B) 詳細図で、間接照明下地にSt. $\square-19 \times 19 \times 1.6$の図示がありますが、縦材(点線側)の取付ピッチが不明です。@300程度と考えると宜しいでしょうか。</p> <p>また、[2Di-12]天井見切り(C) 詳細図の下地についても同じピッチで見込むと考えると宜しいでしょうか。</p>	宜しいです。
110	A-111 A-254	<p>サッシ・壁塞ぎ金物の凡例B3の箇所数が下記の様に相違しています。</p> <p>2箇所を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>平面詳細図(1-4)-1階：2箇所</p> <p><input type="checkbox"/>部分詳細図 内部(1) [1Di-23]サッシ・壁塞ぎ金物詳細図：1箇所</p>	宜しいです。
111	A-108~119 A-205・207	<p>AW4等の額縁・膳板の凡例が下記の様に相違しています。各階平面詳細図の(A)を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>各階平面詳細図：(A)</p> <p><input type="checkbox"/>建具表(1-2)-アルミ製建具：B2</p>	<p>宜しいです。</p> <p>建具表の記号は額縁・膳板の有無・ブラインドボックスの有無を示しています。</p>
112	A-57 S-032	<p>ピットピット(消火水槽)で、釜場の高さが下記の様に相違しています。</p> <p>構造図を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>平面図(1)-ピット階意匠図：H600</p> <p><input type="checkbox"/>構造図：H500</p>	宜しいです。
113	A-06	特記仕様書(6)-第19章内装工事-1.ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り I 材料で、帯電防止床シートの記載がありますが、該当箇所が不明です。該当無しと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
114	A-06	特記仕様書(6)-第19章内装工事-3.合成樹脂塗床 I 材料及び工法で、塗床(A)の記載が2種類ありますが、厚膜型塗床材の該当箇所が不明です。該当無しと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	表題	内容	回答
115	A-06・07	特記仕様書(6)(7)で、8.鏡と21.化粧鏡の記載がありますが、21.化粧鏡は設備工事と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
116	A-120～125	WC展開図(1)～(6)で、姿見鏡は上下ステンズ枠付と考えて宜しいでしょうか。	TOTO:YMK50K とします。
117	A-115	平面詳細図(2-4)-2階で、問診・計測室にパーティションの図示がありますが、仕様・寸法(W*H)・参考メーカー・品番等が不明です。 計上必要な場合は、詳細を御指示下さい。	備品とし、別途工事とします。
118	A-118	平面詳細図(3-3)-3階で、人間ドックロビーにパーティションの図示がありますが、仕様・寸法(W*H)・参考メーカー・品番等が不明です。計上必要な場合は、詳細を御指示下さい。	備品とし、別途工事とします。
119	A-52・53	内部仕上表(1)・(2)の下記部屋の備考欄にパーティションの記載がありますが、施工範囲・仕様・寸法(W*H)・参考メーカー・品番等が不明です。該当なしと考えて宜しいでしょうか。 計上必要な場合は、詳細を御指示下さい。 □1階事務室 □2階心電図検査室(1)(2)、眼底・眼圧VDT検査室・血圧脈波室	不要です。
120	A-52	内部仕上表(1)で1階臨床検査室に塗膜防水の記載がありますが、仕様が不明です。御指示下さい。	ウレタン系塗膜防水 X-2とします。
121	A-03 A-105	階段詳細図(1)-屋内階段-屋内階段 踏面・蹴上部 詳細図(1)で踏面に600角磁器質タイルの記載がありますが、特記仕様書(3)の風除室(1)・エントランスホールと同じ仕様と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
122	A-351	EV詳細図 EV(1-1)でかご床に磁器質タイル(建築工事)と記載がありますが、仕様が不明です。特記仕様書(3)の風除室(1)・エントランスホールと同じ仕様と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
123	A-66	天井伏図(1)-1階で採埃スペースの天井仕上がロックワール化粧吸音板(凡例C:DRt9)ですが、天井点検口は木板用となっております。600角 額縁タイプに読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
124	A-57 A-258	平面図(1)ピット図で大梁人通口上部に取手の記載がありますが、詳細が不明です。部分詳細図 内部(5)[5Di-15]タラップ(内部)詳細図に倣って宜しいでしょうか。	宜しいです。
125	A-07	特記仕様書(7)-第20章エント及びその他工事-29鍵箱でメーカー品番の記載がありますが、郵便ポストのメーカー品番となっております。改めて参考メーカー品番を御指示下さい。	メーカー指定はありません。貴社判断として下さい。
126	A-07	特記仕様書(7)-第20章エント及びその他工事-49洗面化粧台で洗面化粧台(A)にTOTO:LDSZB075AAGAZ1(電気温水器付)の記載がありますが、販売終了となっております。代替参考メーカーを御指示下さい。	TOTO:LDSZB075AAGA525 とします。
127	A-52 A-58	内部仕上表(1)で1階会議室(1-2)の備考欄にマンホールの記載がありますが、平面図(2)-1階では床下点検口となっております。床下点検口を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
128	A-110・111	平面詳細図(1-3・4)-1階でエントランスホール・ギャラリに鋼製床点検口のスラブ面に铸铁製マンホールの記載がありますが、平面図(1)-ピット階の該当箇所にマンホールの記載が無い為、不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	表題	内容	回答																		
129	A-66・67	天井伏図(1)(2)-1・2階で天井点検口の箇所数が下記の様に相違しています。プロット数を正と考えて宜しいでしょうか。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"><450角目地タイプ></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>1階プロット: 63箇所</td> <td><input type="checkbox"/>1階リスト: 61箇所</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>2階プロット: 69箇所</td> <td><input type="checkbox"/>2階リスト: 75箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><450角額縁タイプ></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>1階プロット: 10箇所</td> <td><input type="checkbox"/>1階リスト: 19箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><600角目地タイプ></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>2階プロット: 40箇所</td> <td><input type="checkbox"/>2階リスト: 33箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><600角額縁タイプ></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>1階プロット: 21箇所</td> <td><input type="checkbox"/>1階リスト: 16箇所</td> </tr> </table>	<450角目地タイプ>		<input type="checkbox"/> 1階プロット: 63箇所	<input type="checkbox"/> 1階リスト: 61箇所	<input type="checkbox"/> 2階プロット: 69箇所	<input type="checkbox"/> 2階リスト: 75箇所	<450角額縁タイプ>		<input type="checkbox"/> 1階プロット: 10箇所	<input type="checkbox"/> 1階リスト: 19箇所	<600角目地タイプ>		<input type="checkbox"/> 2階プロット: 40箇所	<input type="checkbox"/> 2階リスト: 33箇所	<600角額縁タイプ>		<input type="checkbox"/> 1階プロット: 21箇所	<input type="checkbox"/> 1階リスト: 16箇所	宜しいです。
<450角目地タイプ>																					
<input type="checkbox"/> 1階プロット: 63箇所	<input type="checkbox"/> 1階リスト: 61箇所																				
<input type="checkbox"/> 2階プロット: 69箇所	<input type="checkbox"/> 2階リスト: 75箇所																				
<450角額縁タイプ>																					
<input type="checkbox"/> 1階プロット: 10箇所	<input type="checkbox"/> 1階リスト: 19箇所																				
<600角目地タイプ>																					
<input type="checkbox"/> 2階プロット: 40箇所	<input type="checkbox"/> 2階リスト: 33箇所																				
<600角額縁タイプ>																					
<input type="checkbox"/> 1階プロット: 21箇所	<input type="checkbox"/> 1階リスト: 16箇所																				
130	A-113	平面詳細図(2-2)-2階で洗濯室に洗濯機パンの記載がありますが、仕様が不明です。参考メーカー品番を御指示下さい。	テクノテック：TPR640-W3-FNとします。																		
131	A-56 A-117	3階診療部室 給湯室で流し台の仕様が下記の様に相違しています。平面詳細図(3-2)-3階を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 内部仕上表(5)-診療部 給湯室 備考欄：流し台(B) <input type="checkbox"/> 平面詳細図(3-2)-3階：流し台(C)	宜しいです。																		
		(建具)																			
132	A-201	建具キープラン(1)-1階図で、1階風除室(2)～設備管理室・守衛室に扉の様な図示がありますが、建具符号がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、サイズ・仕様等を御指示下さい。	建具キープラン・建具表共に図面の不備です。鋼製引き違い窓、W1000xH1000、透明フロートガラスt4として下さい。																		
133	A-205 A-608	衝突防止マークについて下記の様に相違していますが、サイン図を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具共通事項・凡例図：SUS製φ30(FL+1500@600程度) <input type="checkbox"/> サイン図：シート切文字@300	宜しいです。																		
134	A-205	建具共通事項・凡例図で、建具共通事項【扉】39)遮音扉は扉内部、枠内部共RW充填(80kg/m3)とするとありますが、建具表備考欄扉内部:RW充填(80kg/m3)と記載がある建具に該当すると考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。																		
135	-	上記の質疑が正の場合、建具表備考欄は扉内部:RW充填(80kg/m3)とありますが、枠内部のRW充填は不要と考えて宜しいでしょうか。	遮音性能T-3扉は枠もRW充填として下さい。																		
136	A-205 A-207～209	建具共通事項・凡例図で、建具共通事項【ガリ】4)ダケ外接続ガリのフランジ(建築工事)はSt.PL t1.6+SOPとするとありますが、建具表記載のガリ裏塞ぎが衽もSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。																		
137	A-111 A-215～218	ACW-1～3の膳板が下記の様に相違していますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 平面詳細図：膳板(C)アルミ <input type="checkbox"/> アルミ製建具詳細図(1)～(4)：膳板(B)スチール	ACW-2：膳板(C) ACW-1,3：膳板(B)として下さい。																		
138	A-215～218	ACW-1～3のRC埋込金物、鉄骨先付け材において、ACW-1(3FL/吹抜け上部)以外のサイズが不明です。御指示下さい。	別紙資料を添付します。																		
139	A-206	建具表で、ACW-2のガラス凡例に複層ガラスP8+A6+P8とありますが、姿図にありません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。	赤マーク部とします。 																		
140	A-206	建具表で、AW-1の網戸欄に適用の○がありますが備考欄に網戸の記載がありません。必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。																		
141	A-220.221 A-207～209	ガリチャンバーボックス・塞ぎが衽裏の断熱が、アルミ建具詳細図ではロックール吹付とありますが、建具表はロックール吹付と硬質ウレタンフォームの使い分けがあります。防火設備部分がロックール吹付t=30、一般部が硬質ウレタンフォームt=25と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。																		

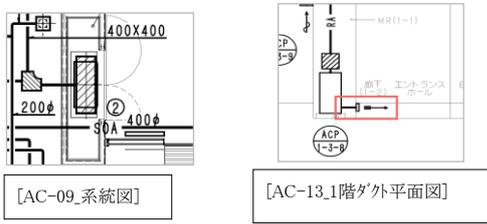
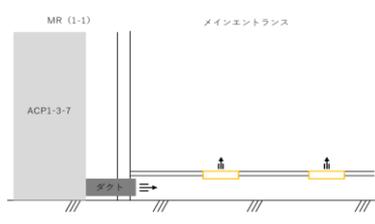
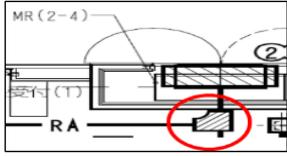
番号	表題	内容	回答
142	A-210	建具表で、下記の建具は仕上がDP(外側)・SOP(内側)とありますが、枠仕上・扉小口仕上はDPと考えて宜しいでしょうか。 □SD-A1-1 □SD-C1-1 □SD-C2-1 □SD-APH-1	宜しいです。
143	A-211	建具表で、SW-1-1～3-7に仕上の記載がありません。SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
144	A-205 A-211	建具表で、SW2-2は強化ガラスですが、飛散防止フィルムの記載がありません。建具共通事項【共通】14より強化ガラス使用部には飛散防止フィルムを貼ることとあるため、飛散防止フィルムを見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
145	—	上記の質疑に関連して、SW1-2等耐熱強化ガラスの場合も飛散防止フィルムを見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
146	A-213 A-233	防煙垂壁BT(R)1-1のマグサが下記の様に相違していますが、建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 □建具表：ステンレスt=1.5 U-BE □鋼製建具詳細図：スチールt=1.6	鋼製建具詳細図を正として下さい。
147	A-233	鋼製建具詳細図BT(R)1-1で、座板がスチールの記載がありますがSOP塗装を見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。
148	A-213 A-233	建具表で、LD-D3-7の建具記号がD2と記載がありますが、ガラスの記載がありません。D1と読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
149	A-214	樹脂サッシの仕上が不明です。御指示下さい。	樹脂製3方枠、1方枠とします。 カイダーベースボード工業 サッシ枠同等品
150	A-211 A-401	建具表と放射線防護工事 詳細図(1)で防護建具の寸法が下記の様に相違していますが、建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 □XSW-1 建具表:W1200×H600 詳細図:W1170×H570 □XSW-2 建具表:W1500×H600 詳細図:W1470×H570	宜しいです。
		(外構)	
151	G-08	植栽工計画図で、設計書数量書に記載されている通り、全て外構2期工事にて施工すると考えて宜しいでしょうか。	2期工事です。ただし、1期工事エリアに付随する植栽は2期工事で施工すると養生や来館者への安全対策など別途対策が必要になるかと思しますので、1期で施工した方が施工上望ましいようであれば1期工事として下さい。
152	G-08	設計書数量書で、植栽工にノミソノ伐採、補植の記載がありますが、植栽工計画平面図上での適用場所が不明です。御指示下さい。	別紙資料「図番08」青四角囲みの位置です。
153	G-09	植栽工平面図(2)-屋上緑化で、植栽帯5に凡例AD2.5がありますが、植栽数量表に同記号の記載がありません。適用無しと考えて宜しいでしょうか。計上必要な場合は、詳細を御指示ください。	AD2.5=アオダモ (H2.5、W1.0) で追加をお願いします。 別紙資料「図番09」参照ください。
154	G-09	植栽工平面図(2)-屋上緑化で、プランター内地被植栽について設計書数量書に項目の記載が見当たりませんが、連結プランター内に含まれていると考えて宜しいでしょうか。	プランター植栽植物追加をお願いします。 別紙資料「図番09」参照ください。
155	G-13	汚水排水設備工計画平面図で、設計書数量書に既設人孔蓋高さ調整の項目がありますが、汚水排水設備工計画平面図上での適用場所が不明です。御指示下さい。	建築設備の方で切り回しを見てありますので、外構からは削除下さい。
156	G-14	園路広場整備工計画平面図(外構1期工事)で、空洞ブロック積が62.5mとありますが、範囲が不明確です。範囲を御指示下さい。	別紙資料「図番14」青線を参照ください。
157	G-14	園路広場整備工計画平面図(外構1期工事)で、歩車道境界ブロック(片面R)が3.9mとありますが、範囲が不明確です。御指示下さい。	別紙資料「図番14」青線を参照ください。
158	G-14	園路広場整備工計画平面図(外構1期工事)で、ガイトステップ(点錠)が10ヶ所とありますが、図中では11ヶ所あります。11ヶ所を正と考えて宜しいでしょうか。	ガイトステップ(点錠)が11ヶ所としてください。
159	G-15	園路広場整備工計画平面図(外構2期工事)で、インターロッキング舗装(歩道対応)33.9m ² とインターロッキング舗装(車両対応)5.8m ² の間に薄茶色に着色された範囲がありますが、舗装の仕様が不明です。御指示下さい。	インターロッキング舗装(歩道対応)です。33.9m ² の中に含まれています。
160	G-15 G-31	園路広場整備工計画平面図(外構2期工事)で、地先境界ブロックが(CO基礎なし)の記載があるものとなないものがありますが、構造図(14)ではCO基礎の記載が見当たりません。(CO基礎なし)の使い分けは不要と考えて宜しいでしょうか。	基礎なしをお願いします。
161	G-16	区画線工計画平面図で、南側に溶融式区画線(白色 実線 W150換算) L=68.5mとありますが、溶融式区画線(白色 矢印 W150換算) L=68.5mに読	溶融式区画線(白色 矢印 W150換算)です。

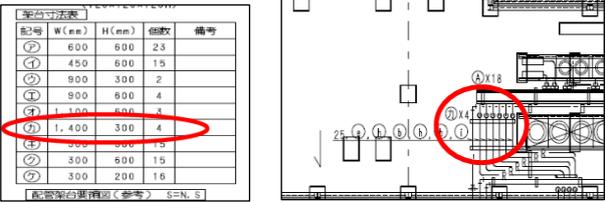
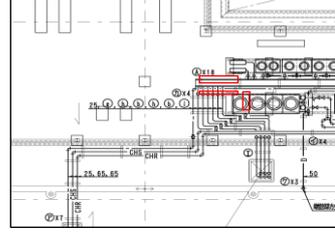
番号	表題	内容	回答
		み替えて宜しいでしょうか。	
162	G-16	区画線工計画平面図で、公用車用平面駐車場に区画線と車止めは不要と考えて宜しいでしょうか。	溶融式区画線(白色 実線 W150換算) L=65.0mを追加してください。添付図「図番16」を参照ください。
163	G-16 G-32	構造図(15)-区画線で区画線設置(駐車場)とありますが、該当箇所が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。	不要です。
164	G-17 G-33.34	施設整備工計画平面図で、健康器具-1が2ヶ所ありますが、構造図(16)(17)では健康器具が複合タイプ、平均台、平行棒の3つあります。健康器具は3つとも見込むと考えて宜しいでしょうか。	複合タイプは不要です。 別紙資料「図番33」を参照ください。
165	G-17	施設整備工計画平面図で、長ベンチとありますが、寸法・仕様・仕上がりが不明です。御指示下さい。	別紙資料「図番37」を参照ください。
166	G-17 G-36	構造図(19)-管理施設(2)で、フェンス基礎が連続基礎部と単独基礎部の図示がありますが、使い分けが不明です。すべて連続基礎と考えて宜しいでしょうか。	別紙資料「図番17」の青線沿いは既存擁壁を残置することになったので、青線部が単独基礎になります。
167	G-36	上記、連続基礎で、コンクリート内に配筋の記載がありませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、配筋要領を御指示下さい。	通常は配筋なしで施工しますので、なしでお願いします。
168	G-31	構造図(14)-舗装緑石(2)で切下げブロックAの150/170と150/190の使い分けを御指示下さい。	歩車道境界ブロックA種の片面Rを切り下げる場合は150/170、両面Rを切り下げる場合は150/190として下さい。
169	A-253	部分詳細図 外部(3)で、受水槽基礎の配筋要領と地業を御指示下さい。	下記の図とします。
170	A-301 G-16	おもいやり駐車場屋根詳細図で車椅子マークとゼブララインの記載がありますが、区画線工計画平面図では見当たりません。 おもいやり駐車場屋根詳細図に倣って見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
171	G-24	構造図(7)-雨水排水(3)の集水柵で、コンクリート内に配筋の記載がありませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、配筋要領を御指示下さい。	通常は配筋なしで施工しますので、なしでお願いします。二次製品に変更される場合は、二次製品の規格に合わせてください。(例) 500×500×h 1050⇒500×500×1100
172	A-302	駐輪場基礎について、スラブはS15と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
173	A-608	既存石碑移設基礎について、立上り部の仕上がりが不明です。御指示下さい。	コンクリート打放し補修とします。
174	A-605, 608	サイン詳細図(1)(4)の各自立サイン基礎下の地業厚みが不明です。下記の様に考えて宜しいでしょうか。 □捨てコンクリートt=50+砕石(RC-40)t=100	宜しいです。
175	A-605, 608	サイン詳細図(1)(4)の各サインに根巻きコンクリートの記載がありますが、配筋要領が不明です。御指示下さい。	D13@200タテヨコ共とします。
176	C-01 C-09	一般構造図で、アスファルト舗装(乗入口)及び(歩道部)とありますが、計画平面図上での具体的な該当範囲が不明です。御指示下さい。	別紙資料を添付します。
177	C-01 C-09	一般構造図で、地先境界ブロックとありますが、計画平面図上での具体的な該当範囲が不明です。御指示下さい。	不要です。
178	C-10	構造物撤去工図において、図面左下にコンクリートとありますが、平面図上での該当範囲が不明です。御指示下さい。	別紙資料を添付します。
179		特記なき屋外工作物のコンクリート強度は、下記の様に考えて宜しいでしょうか。 □躯体コンクリート：Fc21N S-18 □土間コンクリート：Fc18N S-18 □捨てコンクリート：Fc18N S-18	宜しいです。
		設計書(数量)に対する質疑	

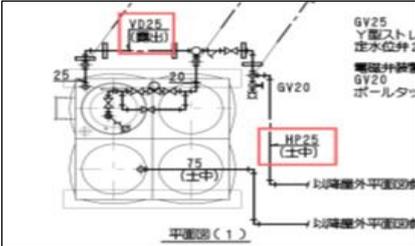
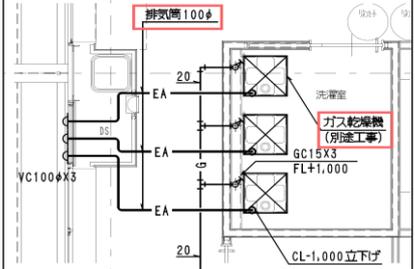
番号	表題	内容	回答
180		<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【防水工事】</p> <p>◆防水工事/1Fビロテ軒裏幕板取合シーリング MS-2 20*10 <input type="checkbox"/>設計書 :136m <input type="checkbox"/>積算数量:5.0m</p> <p>◆防水工事/外壁(B)鉄骨梁貫通部 MS-2 30*10 <input type="checkbox"/>設計書 :44.8m <input type="checkbox"/>積算数量:2.6m</p>	<p>設計書の数量が正です。</p> <p>◆防水工事/1Fビロテ軒裏幕板取合シーリング MS-2 20*10 → 136m</p> <p>◆防水工事/外壁(B)鉄骨梁貫通部 MS-2 30*10 → 44.8m</p>
181		<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【金属工事】</p> <p>◆金属工事/外壁(B)鉄骨梁貫通部水切りアルミ2.0ステンカラー W50*H90 L=520 <input type="checkbox"/>設計書 :86箇所 <input type="checkbox"/>積算数量:5箇所</p>	<p>設計書の数量が正です。</p> <p>◆金属工事/外壁(B)鉄骨梁貫通部水切りアルミ2.0ステンカラー W50*H90 L=520 → 86か所</p>
182		<p>下記項目の該当範囲が不明です。御指示下さい。</p> <p>◆防水工事/屋根立上り 砂付ストレッチルーフイング 増貼り押えコンクリート部 <input type="checkbox"/>設計書 :283m²</p> <p>◆防水工事/外壁(B)(C)ECP取合シーリング MS-2 20*10 <input type="checkbox"/>設計書 :33.2m</p> <p>◆内外装工事/外壁(B)(C)ECP 下端取付用金物耐火被覆 ロックール吹付t25</p>	<p>◆屋根 防水押えコンクリート部分 立上り 露出部分の砂付ストレッチルーフイング 増貼りを防水押えコンクリート部分に300延ばしています。</p> <p>◆外壁(B)(C)ECPが他の仕上げに接する所</p> <p>◆外壁(B)(C)ECP 下端取付用金物耐火被覆 ロックール吹付t25 → 下端取付用金物が露出している部分です。</p>
183		<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【鉄骨工事】</p> <p>◆鉄骨工事/柱、梁、その他耐火被覆 <input type="checkbox"/>設計書 :計3514m² <input type="checkbox"/>積算数量:計9117m²</p> <p>◆鉄骨工事/メタルラス <input type="checkbox"/>設計書 :64m² <input type="checkbox"/>積算数量:計15.7m²</p>	<p>◆鉄骨工事/柱、梁、その他耐火被覆 耐火被覆積算数量9715m²になります。</p> <p>◆鉄骨工事/メタルラス メタルラス数量45.1+18.964m²となります。</p>
184		<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【木工事】</p> <p>◆木工事/天井 杉羽目板張り(A) <input type="checkbox"/>設計書 :510m² <input type="checkbox"/>積算数量:307m²</p> <p>◆木工事/天井 杉羽目板張り(B) <input type="checkbox"/>設計書 :182m² <input type="checkbox"/>積算数量:414m²</p> <p>◆木工事/廻縁 杉集成材 25x43 <input type="checkbox"/>設計書 :291m <input type="checkbox"/>積算数量:414m</p> <p>◆木工事/照明ボックス(B) <input type="checkbox"/>設計書 :159m <input type="checkbox"/>積算数量:121m</p>	<p>設計書の数量が正です。</p>

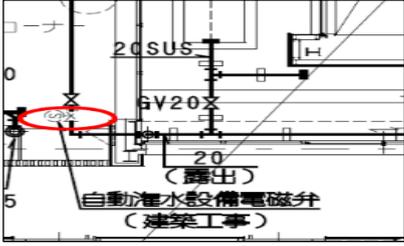
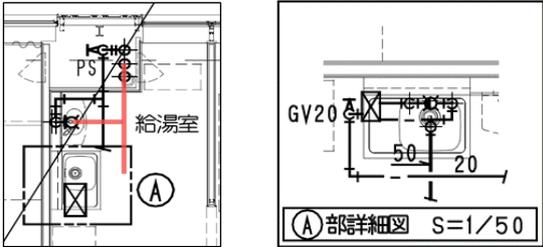
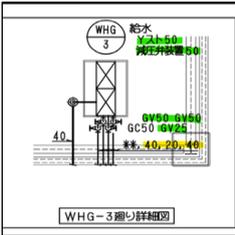
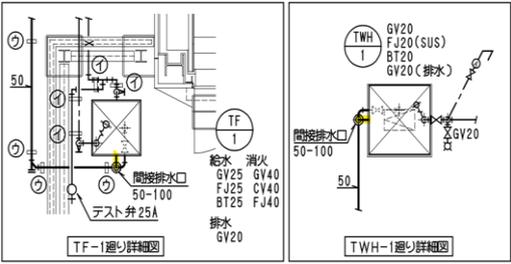
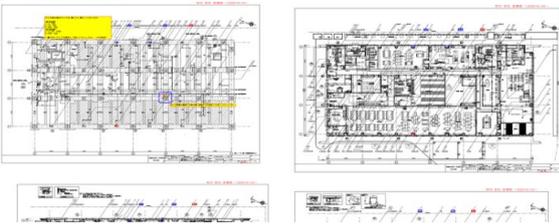
番号	表題	内容	回答
185		<p>下記項目の該当範囲が不明です。御指示下さい。</p> <p>◆金属工事/下り天井 軽鉄天井下地 19型 H490 □設計書 :9.2m</p> <p>◆左官工事/床 モルタル塗 □設計書 :23.5㎡</p> <p>◆内外装工事/膳板(A) 樹脂製 W205 □設計書:39.6m</p> <p>◆内外装工事/額縁(A) 樹脂製 W205 □設計書 :25.9m</p> <p>◆内外装工事/膳板(A) 樹脂製 W265 □設計書 :42.8m</p> <p>◆内外装工事/額縁(A) 樹脂製 W265 □設計書 :44.4m</p>	<p>◆金属工事/下り天井 軽鉄天井下地 19型 H490 下り天井-1F受付カウンター上部</p> <p>◆左官工事/床 モルタル塗 床モルタル-アルミフレーム樹脂繊維マット下</p> <p>◆内外装工事/膳板(A) 樹脂製 W205 会議室1-1、巡回企画室等</p> <p>◆内外装工事/額縁(A) 樹脂製 W205 同上</p> <p>◆内外装工事/膳板(A) 樹脂製 W265 スタッフ通路2-1、3F総務部、3F診療部室等</p> <p>◆内外装工事/額縁(A) 樹脂製 W265 同上</p>
186		<p>下記項目の該当範囲が不明です。御指示下さい。</p> <p>◆防水工事/ 建具廻りコーキング MS-2 10x10 □設計書 :1,126m</p> <p>◆防水工事/ 水切下コーキング MS-2 10x10 □設計書 :385m</p> <p>◆防水工事/ 水切下コーキング MS-2 □設計書 :40.9m</p> <p>◆防水工事/ 水切下コーキング MS-2 20x15 二重シール □設計書 :52.6m</p> <p>◆硝子工事/ 強化硝子 T6 4.0㎡以下 □設計書 :4.1㎡</p> <p>◆内外装工事/ 建具 耐火バックボート ケイカル板t20+20 塗装下 □設計書 :145㎡</p>	<p>◆防水工事/ 建具廻りコーキング MS-2 10x10 建具詳細図A-220図</p> <p>◆防水工事/ 水切下コーキング MS-2 10x10 建具詳細図A-220図</p> <p>◆防水工事/ 水切下コーキング MS-2 建具詳細図A-220図 ACW1</p> <p>◆防水工事/ 水切下コーキング MS-2 20x15 二重シール 建具詳細図A-219図 AW1</p> <p>◆硝子工事/ 強化硝子 T6 4.0㎡以下 SW2-2</p> <p>◆内外装工事/ 建具 耐火バックボート ケイカル板t20+20 塗装下 ACW1建具詳細図A-215図の範囲</p>
187		<p>下記の様に数量が相違しています。建具共通事項【共通】14)強化ガラス使用部には飛散防止フィルムを貼ることとあるため、フィルムの記載がない強化ガラスも飛散防止フィルム透明を見込むとし、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>◆硝子工事/ 飛散防止フィルム透明 □設計書 :99.2㎡ □積算数量:182㎡</p>	<p>宜しいです。</p>
188		<p>下記項目の数量差異について、金抜数量を正と考えて宜しいでしょうか。 ACW方立見え掛り部分は積算数量(43.6㎡)になります。方立部以外にSOP塗装が必要な部分を御指示下さい。</p> <p>◆鉄骨工事/ ACW SOP □設計書 :94.02㎡ □積算数量:43.6㎡</p>	<p>設計書の数量が正です。</p>
189	G-30	<p>インターロッキング 舗装(歩道対応)について、仕様が以下の様に相違しています。 構造図(13)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□設計書 :2色 □構造図(13):3色混合配置</p>	<p>2色でお願いします。</p>
190	G-30	<p>インターロッキング 舗装(車両対応)と(検診車対応)について、仕様が以下の様に相違しています。構造図(13)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□設計書 :80+30+150 □構造図(13):80+20+100+150</p>	<p>構造図を正でお願いします。</p>

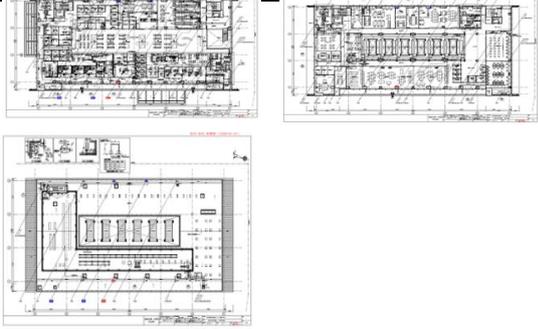
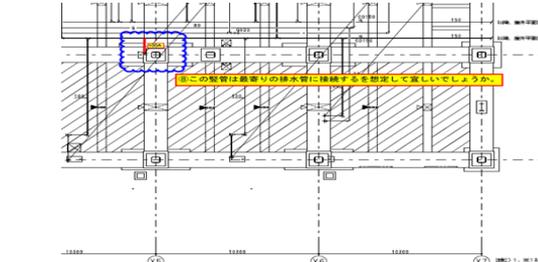
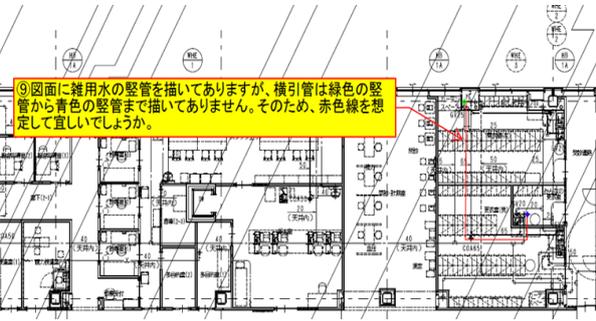
番号	表題	内容	回答
191		<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>◆外構工事(1期)/スリット側溝250 <input type="checkbox"/>設計書 :11m <input type="checkbox"/>積算数量:0m</p> <p>◆外構工事(1期)/集水桝500×500×h600 G蓋:T-25 <input type="checkbox"/>設計書 :1基 <input type="checkbox"/>積算数量:0基</p> <p>◆外構工事(1期)/インターロッキング 舗装(車両対応) <input type="checkbox"/>設計書 :201m2 <input type="checkbox"/>積算数量:256m2</p> <p>◆外構工事(1期)/歩車道境界ブロックA(両面R) <input type="checkbox"/>設計書 :19m <input type="checkbox"/>積算数量:0m</p>	<p>◆外構工事(1期)/スリット側溝250 <input type="checkbox"/>積算数量:0m</p> <p>◆外構工事(1期)/集水桝500×500×h600 G蓋:T-25 <input type="checkbox"/>積算数量:0基</p> <p>◆外構工事(1期)/インターロッキング 舗装(車両対応) <input type="checkbox"/>積算数量:256m2</p> <p>◆外構工事(1期)/歩車道境界ブロックA(両面R) <input type="checkbox"/>積算数量:0m⇒(片面R) 3.9mを追加 ※質疑番号「156」分</p> <p>別紙資料を添付します。</p>
192		<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>◆外構工事(2期)/スリット側溝300×600 <input type="checkbox"/>設計書 :6.0m <input type="checkbox"/>積算数量:17.0m</p> <p>◆外構工事(2期)/自由勾配側溝400×500 縦断 <input type="checkbox"/>設計書 :18.0m <input type="checkbox"/>積算数量:0m</p> <p>◆外構工事(2期)/自由勾配側溝400×800 縦断 <input type="checkbox"/>設計書 :40.0m <input type="checkbox"/>積算数量:28.0m</p>	<p>以下の通りお願いします。</p> <p>◆外構工事(2期)/スリット側溝300×600⇒11.0m</p> <p>◆外構工事(2期)/自由勾配側溝400×500 縦断 ⇒0</p> <p>◆外構工事(2期)/自由勾配側溝400×800 縦断 ⇒28.0m</p> <p>別紙資料を添付します。</p>
193		<p>下記の項目が数量書にありません。見込んで宜しいでしょうか。</p> <p>◆エント及びその他工事/(サイン基礎)/基礎天端 コンクリート金コ押し < A-605図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:0.8m2</p> <p>◆職員用駐車場/基礎天端 コンクリート金コ押し< A-302図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:22.2m2</p> <p>◆受診者用駐輪場/基礎天端 コンクリート金コ押し< A-302図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:4.7m2</p> <p>◆外構工事(1期)/集水桝600×600×h1000 G蓋:T-25 < G-10図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:2基</p> <p>◆外構工事(1期)/歩車道境界ブロックA(片面R) < G-14図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:3.9m</p>	<p>宜しいです。</p>
194		<p>下記の項目が数量書にありません。見込んで宜しいでしょうか。</p> <p>◆乗入れ口ボックスカバー/重力式擁壁< C-01図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:1.0m</p> <p>◆乗入れ口ボックスカバー/視覚障害者誘導ブロック< C-01図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:17.4m</p> <p>◆乗入れ口ボックスカバー/樹木捕植< C-01図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:1本</p>	<p>■翼壁工になります(図面の数量は1.86m3が正です) 別紙資料を添付します。</p> <p>■計上漏れです、見込んでください</p> <p>■外構工事で計上</p>
195		<p>下記の項目が数量書にありません。見込んで宜しいでしょうか。</p> <p>◆外構工事(2期)/おもいやり駐車場 車椅子マーク< A-301図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:4ヶ所</p> <p>◆外構工事(2期)/おもいやり駐車場 ゼブラゾーン< A-301図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:4ヶ所</p> <p>◆外構工事(2期)/おもいやり駐車場 ライン引き< A-301図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:6.0m</p> <p>◆外構工事(2期)/おもいやり駐車場 タイヤ止め< A-301図参照> <input type="checkbox"/>積算数量:8ヶ所</p>	<p>宜しいです。</p>
		(機械設備)	
196	AC-05	空気調和設備 機器表(5)の排風機(FV-2-1~2-4)について、設置場所が1階	平面図が正となります。

番号	表題	内容	回答
	AC-14	になっておりますが、平面図は2階平面図に記載があります。平面図を正と 考えて宜しいでしょうか。	
197	AC-06 AC-13	空気調和設備 制気口リスト(1)について、1階エントランスホール、0次予防キ ャリ-、EVホ ール(1-1)、廊下(1-1)にライン形(床)が32ヶ所とありますが、ダクト1階平面図では接 続ダクトが図示されていません。床下ファン-と考えると接続ダクトは不要と考 えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 カネソウのフロアルーバーステンレス製 L型受 枠(クッション付)を想定しています。納まり図は HP参照してください。
198	AC-09 AC-13	ダクト系統図にACP-1-3-7,8に接続の床吹き出しダクトが記載されていますが、ダ クト1階平面図には接続ダクトが図示されていません。 又、制気口リストにも記載がありません。 機器接続まで本工事と考えて、下記の赤枠部は別途と考えて宜しいでしょ うか。 	赤枠のダクト延長は必要となります。二重床内まで の突き出しダクト延長は本工事とします。 ダクトサイズは、ダイキン工業の壁ビルトイン型下 吹き出しタイプの必要寸法とします。 
199	AC-08 AC-13	空気調和設備 制気口リスト(1)について 1階消火ポンプ室に制気口リストに記載がなく、平面図にはプロットされて おります制気口サイズをご指示下さい	バスダクトの制気口は、便所側はSUS150φ金網と し、室内はVHS150×150とします。
200	AC-06 AC-14	空気調和設備 制気口リスト(1)について 2階こもれびロビーに床空調パネルは建築工事と記載があり、ダクト2階平面 図では接続ダクトが図示されておられません。床空調パネルは建築工事で見込 んで頂き、ダクト接続は不要と考えて宜しいでしょうか。	床空調パネル(染み出し)は建築工事になります。 1Fのエントランス同様に床下で空気を開放するた め、機器本体から二重床内までの突き出しダクト延 長は本工事とします。
201	AC-06 AC-14	空気調和設備 制気口リスト(2)について 2階内視鏡室 SAのE2#15が2個になっておりますが、平面図には3個記載が ございます。平面図を正として考えて宜しいでしょうか。	平面図3個を正とします。ただし、制気口リストの 風量は320m ³ /hを310m ³ /hに見直し、1個当たりの 風量は103m ³ /hとします。
202	AC-07 AC-14	空気調和設備 制気口リスト(2)について 2階洗浄室 EAのGVS200×200が3個になっておりますが、平面図には1個 記載がございます。平面図を正として考えて宜しいでしょうか。	平面図通りです。GVSは平面上は1個ですが、2か所 DS内で立ち下げ、FL+500程度の壁面にGVS200× 200を設置します。よって、計3か所となります。
203	AC-08 AC-15	空気調和設備 制気口リスト(3)について 3階ホワイエ RAのCL3-1000が2個になっておりますが、平面図には1個記 載がございます。平面図を正として考えて宜しいでしょうか。	制気口リストおよび平面図とも2か所となってい ます。
204	AC-08 AC-15	空気調和設備 制気口リスト(3)について 3階ホワイエ バスのCL2-2000が1個になっておりますが、平面図には記載 がございません。平面図を正として考えて宜しいでしょうか。	平面図に記載があります。空調SAの上部にバスダ クトを記載しています。
205	AC-13	空気調和設備 ダクト1階平面図について 細胞診標本作製室内にプッシュプル排気装置がございますがダクトの立 下げは、どの程度見込めば宜しいでしょうか。	FL+800まで立ち下げとします。
206	AC-13 AC-14	空気調和設備 ダクト1階平面図について 消音エルボの記載がございますが、材質の記載がされておられません。亜鉛 鉄板のグラスウール内貼25tで宜しいでしょうか。	亜鉛鉄板製でグラスウール内張50mmとします。
207	AC-14	空気調和設備 ダクト2階平面図について ACP-2-2-7へ接続のRA消音エルボのサイズを教えてください宜しいでしょ うか。 	亜鉛鉄板製でグラスウール内張50mmとします。 サイズは、600×600とします。
208	AC-16	空気調和設備 ダクトPH階平面図について ベンチレーター-の表記がございます。機器表には記載がございません。型 式等教えて頂いて宜しいでしょうか。	ベンチレーター-ではなく、ダクト頂部はSUS金網とし、ダ クト底部に水抜き25φを設置します。
209	AC-22	空気調和設備 配管PH階平面図について 架台寸法表の㊸×4つになっておりますが平面図上では㊸の大きさが異なっ	架台の「カ」は4ではなく、3とします。

番号	表題	内容	回答																																												
		<p>ているように見られます。赤枠で囲んだ部分の架台寸法は、同じで宜しいでしょうか。</p> 																																													
210	AC-05	<p>空調設備 機器表(5)の排風機 (FE-3-7) について</p> <p>CO2制御とありますが、選定機種ではCO2制御は対応出来ません。制御方式を変更するか、選定機器の変更が必要です。ご指示頂けませんか。</p>	ON-OFF制御に変更し、風量変更は行いません。																																												
211	AC-15	<p>空調設備 ダクト3階平面図について</p> <p>チャンバリストでは、ACP-3-1-10、ACP-3-3-2、3-3、3-4の機器がそれぞれ1台で、チャンバーボックスがそれぞれ2個と記載がございますが、平面図では機器が2台、チャンバーボックスが4個ございます。平面図を正と</p>	ACP-3-3-2、3-3、3-4の機器がそれぞれ2台が正なので、チャンバーボックスは4個となります。ただし、ACP-3-1-10は1台なので図面通りです。																																												
212	—	<p>1 新本館棟 (2)空調設備_ダクト設備の設計書 (数量表) の項目内容で、アングルフランジ 工法ダクト_1.0mm (1501~2200mm) _13.0m2とありますが、機械設備図のダクト平面図で確認出来ません。ダクト系統及び場所について教えて</p>	2000~3000mm未満のライン型の制気口のネックダクトが1.0mmになるため、それらを計上しています。場所は3F人間ドックロビーやホワイエ、食堂、																																												
213	—	<p>1 新本館棟 (2)空調設備_ダクト設備の設計書 (数量表) の項目内容で、アングルフランジ 工法ダクト_1.2mm (2201mm) _53.0m2とありますが、機械設備図のダクト平面図で確認出来ません。ダクト系統及び場所について教えて頂</p>	3000mm以上のライン型の制気口のネックダクトが1.2mmになるため、それらを計上しています。場所は上記と同様です。																																												
214	—	<p>1 新本館棟 (6)換気設備_ダクト設備の設計書 (数量表) の項目内容で、アングルフランジ 工法ダクト_1.0mm (1501~2200mm) _4.0m2とありますが、機械設備図のダクト平面図で確認出来ません。ダクト系統及び場所について教えて頂</p>	2000~3000mm未満のライン型の制気口のネックダクトが1.0mmになるため、それらを計上しています。場所は上記と同様です。																																												
215	A-08 M-01 P-01	<p>工事区分について、意匠図(A-08)_工事区分表(1)_防災消火設備等_消火器・大型消火器は別途工事と記載があり、機械設備(M-01) 特記仕様書(1)では消火器は本工事に●印があり、衛生機器表の屋内消火栓箱(HB-1AS)に消火器横置タイプと記載がございます。消火器本体については工事区分表を正として別途と考えて宜しいでしょうか。又、必要な場合は仕様を教えてください。</p>	宜しいです。																																												
216	A-08 M-02 P-13	<p>さく井設備工事範囲については全て設備本工事(掘削共)と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>・工事区分表(1)_医療用設備工事等_地下水利用設備一式は衛生設備工事(A-08)</p> <p>・機械設備 特記仕様書(2)ではさく井設備工事は本工事 (M-02)</p> <table border="1" data-bbox="462 1411 885 1489"> <tr> <td>消火</td> <td>設備:</td> <td>●屋内消火栓設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>●移動式粉末消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>●消火器</td> </tr> </table>	消火	設備:	●屋内消火栓設備			●移動式粉末消火設備			●消火器	宜しいです。																																			
消火	設備:	●屋内消火栓設備																																													
		●移動式粉末消火設備																																													
		●消火器																																													
217	P-03	<p>給排水衛生設備 系統図の凡例注記に、※耐火性硬質塩化ビニル管の使用範囲は、区画貫通部の前後1.0mとする。と記載がございます。下記配管の使用系統(流体)について教えて頂いて宜しいでしょうか。</p> <table border="1" data-bbox="462 1590 925 1859"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>給水管(上水)</td> <td>一般・専中 耐火性硬質塩化ビニル管 水廻り(量水器付) 耐火性硬質塩化ビニル管</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>給水管(給排水)</td> <td>硬質塩化ビニル管(SGP-VB)</td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>---</td> <td>給水管(給排)</td> <td>耐火性硬質塩化ビニル管 床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>---</td> <td>給水管(給排)</td> <td>耐火性硬質塩化ビニル管 床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>排水管</td> <td>一般 硬質塩化ビニル管(VP) ビット内 硬質塩化ビニル管(VP)</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>給排水管</td> <td>一般 硬質塩化ビニル管(VP) ビット内 硬質塩化ビニル管(VP)</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>給排水管</td> <td>一般 硬質塩化ビニル管(VP)</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>排水管</td> <td>床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管(VP)</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>ポンプアップ給水管</td> <td>耐火性硬質塩化ビニル管</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>給水管</td> <td>硬質塩化ビニル管(VU)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※耐火性硬質塩化ビニル管の使用範囲は、区画貫通部の前後1.0mとする。</p>	凡例	記号	名称	概要	---	---	給水管(上水)	一般・専中 耐火性硬質塩化ビニル管 水廻り(量水器付) 耐火性硬質塩化ビニル管	---	---	給水管(給排水)	硬質塩化ビニル管(SGP-VB)	I	---	給水管(給排)	耐火性硬質塩化ビニル管 床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管	II	---	給水管(給排)	耐火性硬質塩化ビニル管 床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管	---	---	排水管	一般 硬質塩化ビニル管(VP) ビット内 硬質塩化ビニル管(VP)	---	---	給排水管	一般 硬質塩化ビニル管(VP) ビット内 硬質塩化ビニル管(VP)	---	---	給排水管	一般 硬質塩化ビニル管(VP)	---	---	排水管	床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管(VP)	---	---	ポンプアップ給水管	耐火性硬質塩化ビニル管	---	---	給水管	硬質塩化ビニル管(VU)	耐火性硬質塩化ビニル管は使用していないので記載は対象外です。
凡例	記号	名称	概要																																												
---	---	給水管(上水)	一般・専中 耐火性硬質塩化ビニル管 水廻り(量水器付) 耐火性硬質塩化ビニル管																																												
---	---	給水管(給排水)	硬質塩化ビニル管(SGP-VB)																																												
I	---	給水管(給排)	耐火性硬質塩化ビニル管 床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管																																												
II	---	給水管(給排)	耐火性硬質塩化ビニル管 床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管																																												
---	---	排水管	一般 硬質塩化ビニル管(VP) ビット内 硬質塩化ビニル管(VP)																																												
---	---	給排水管	一般 硬質塩化ビニル管(VP) ビット内 硬質塩化ビニル管(VP)																																												
---	---	給排水管	一般 硬質塩化ビニル管(VP)																																												
---	---	排水管	床下埋設用耐火性硬質塩化ビニル管(VP)																																												
---	---	ポンプアップ給水管	耐火性硬質塩化ビニル管																																												
---	---	給水管	硬質塩化ビニル管(VU)																																												
218	【No.103】 設計書 (数量表)	<p>06_機械設備工事(1期・2期工事)設計書_新本館棟(10)の内容で、給水管に一般配管用ステンレス鋼管(SUS)_屋内一般配管 20SUと記載がございます。図面の配管材料で給水管には、一般配管用ステンレス鋼管の指定がありません。</p> <p>設計書(数量表)の内容について教えて頂いて宜しいでしょうか。</p>	P-08に記載の通り、3F中庭の自動灌水用の給水管が20SUSになります。																																												
219	M-01. P-03	<p>特記仕様書(1)_第2編 共通事項_第2章 配管工事_配管材料について給水管の屋外露出部分の配管が不明です。硬質塩化ビニルライニング鋼管(VD)と考えて宜しいでしょうか。</p>	屋外露出配管部はステンレス鋼管(拡張式)とします。																																												

番号	表題	内容	回答
		※上記内容は、P-03 給排水衛生設備 系統図の凡例にも記載がありません。	
220	M-01 P-03、04	<p>給排水衛生設備_屋外平面図の受水槽廻り詳細図に、給水配管にHP25(土中)と図示されています。特記仕様書と凡例では、地中は給水用高密度ポリエチレン管と記載がございます。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。</p> 	<p>HPは高密度ポリエチレン管のことを示しています。 土中は高密度ポリエチレン管とします。</p>
221	P-12	<p>ガス乾燥機（別途工事）に接続の排気筒100φが記載されていますが、本工事か別途工事が不明です。ご指示頂けますか。又、本工事の場合、材質及び被覆について教えて頂いて宜しいでしょうか。</p> 	<p>排気筒は機器付属のステンレス製100φのダクトとし、断熱施工RW25mm巻きとします。</p>

番号	表題	内容	回答
222	P-08	<p>給排水衛生設備3階平面図について</p> <p>右図の自動灌水設備の電磁弁は建築工事で機械設備工事は、電磁弁の手前までとし、バルブ以降は建築工事と考えて宜しいでしょうか。</p> 	電磁弁のみ建築工事とし、図面に記載している給水管は全て本工事範囲とします。
223	P-08	<p>給排水衛生設備3階平面図について</p> <p>3Fの給湯室の排水管について、洗面器に接続する排水管の図示がありません。また、A部詳細図から平面図までルートも示されていないので、下記の通りに考えて宜しいでしょうか。</p> 	宜しいです。
224	P-09	<p>給排水衛生設備 PH階平面図について</p> <p>給水管及び給湯管の配管サイズ及びバルブサイズが異なります。</p> <p>*配管： 給水：40A 給湯（往）：40A 給湯（還）：20A</p> <p>*バルブ： 給水：GV50A、Y50A、減圧弁装置50A 給湯（往）：GV50A</p> <p>配管サイズで見込んで宜しいでしょうか。</p> 	宜しいです。
225	P-09	<p>給排水衛生設備のPH階について</p> <p>図面にTF-1及びTWH-1のオーバーフロー管の配管サイズの記載がありません。配管サイズは40Aとし、考えて宜しいでしょうか。（防虫網40A）</p> 	宜しいです。
226	P-05~P-09	<p>各階の平面図について、排水管のサイズが各階で異なります。一番大きいサイズを正として宜しいでしょうか。</p> <p>※青色範囲 ※赤色範囲</p> <p>ピット：65A ピット～2F：100A 1F～2F：50A 3～PHF：65A 3F～PHF：65A</p> 	宜しいです。

番号	表題	内容	回答	
				
227	P-05	<p>給排水衛生設備のピット階平面図について、下記の内容で宜しいでしょうか。</p> 	宜しいです。	
228	P-07	<p>給排水衛生設備の2階平面図について、下記の内容で宜しいでしょうか。</p> 	宜しいです。 2階天井内配管とします。	
229	P-02,07,11	<p>給排水衛生設備 2階平面図について 婦人科検査室に電気温水器のプロットが2台ござりますが、衛生器具表と平面詳細図には1台になっております。衛生器具表と平面詳細図を正として考えて宜しいでしょうか。</p>	宜しいです。	
230 231	M-01	<p>特記仕様書(1)_第2編 共通工事_第1章 一般事項について サーモグラフィによる温度分布測定(監督職員の指示するヶ所)の測定する箇所はどのように考えたら宜しいでしょうか。</p>	アンダーフロアー空調部分および天井放射パネル部分を対象とします。	
232	M-02	<p>特記仕様書(2)_第2編 共通事項_第2章 配管工事_6.2吊及び支持 機械室・PS,DSに●印が付いていますが、防振支持を行う支持範囲には●印が付いていません。 防振支持は不要と考えて宜しいでしょうか。</p> <table border="1" data-bbox="368 1599 1002 1688"> <tr> <td>○ 防振支持をおこなう。支持範囲は下記とする。 防振支持材は (○ゴム ○スプリング) とする ○NC35以下の居室 ●機械室 ●PS、DS *屋上 ○</td> </tr> </table>	○ 防振支持をおこなう。支持範囲は下記とする。 防振支持材は (○ゴム ○スプリング) とする ○NC35以下の居室 ●機械室 ●PS、DS *屋上 ○	宜しいです。
○ 防振支持をおこなう。支持範囲は下記とする。 防振支持材は (○ゴム ○スプリング) とする ○NC35以下の居室 ●機械室 ●PS、DS *屋上 ○				
233	M-02	<p>特記仕様書(2)_第3編 空調和設備工事_第1章 機材_3.1_一般事項についてダクトに普通鋼板製ダクト(1.6mm厚)に●印が記載されていますが、指定場所が不明です。上記ダクトの指定場所について教えてください。</p> <table border="1" data-bbox="368 1823 1002 1861"> <tr> <td>ダクト： ●亜鉛鉄板製ダクト ●普通鋼板製ダクト(1.6mm厚)</td> </tr> </table>	ダクト： ●亜鉛鉄板製ダクト ●普通鋼板製ダクト(1.6mm厚)	FD貫通部に使用します。
ダクト： ●亜鉛鉄板製ダクト ●普通鋼板製ダクト(1.6mm厚)				
234	解M-01	<p>既存配管図で、実線と点線表示とありますが、実線はすべて撤去、点線(排水)は一部盛替えと考えてよいでしょうか。 また、配管等撤去時はアスファルト舗装剥ぎもあると考えてよいでしょうか。</p>	点線部分の配管に関しては、解体後の盛替え工事までは必要なため、点線にて残置表記としております。 配管等の撤去の際のアスファルト剥ぎ取りは建築工事のアスファルト解体後に撤去と考えております。	
235	解M-02	<p>機器リストの撤去機器は仮置き場があり、産廃は施工主と考えるとよいでしょうか。</p>	処分、運搬も本工事に含まれます。	

番号	表題	内容	回答
236	解M-27～	換気設備図ですが、換気機器は撤去対象ですが、制気口は建築工事と考えてよいでしょうか。(サイズ・個数)不明です。	ダクト撤去の際に含めて撤去を考えております。本工事にて撤去となります。
237	解M-27～	改修前の機器が天井内に残っていないと考えてよいでしょうか。	基本的に撤去してあると思われませんが、天井内に残置されている可能性もあります。
238	解M-35	地下油槽・グリーストラップ詳細図がありますが、設置場所が不明です。教えて頂いて宜しいでしょうか。	別紙資料(図面)を添付します。
239	数量表 共通	数量表に記載の既存の機器仕様が不明なので仕様のご教授をお願い致します。	別紙資料(数量書)を添付します。
240	数量表 Ⅲ-① 解M-02	数量表18台、解M-02機器表18台とあるが相違が取れません。 (数量表)湯沸器4台、2台、4台、8台 ※機器仕様記載なし 計.18台 (解M-02) ガス湯沸器(屋内設置型13号タイプ)2台 ガス湯沸器(屋外設置型13号タイプ)2台 ガス湯沸器(屋内壁掛型13号タイプ)1台 ガス湯沸器(屋内据置型バランス式13号タイプ)1台 ガス湯沸器(屋内据置型バランス式8号タイプ)4台 ガス湯沸器(据置型貯湯量20L)3台 電気湯沸器(置台貯湯型貯湯量20L)1台 電気湯沸器(壁掛貯湯型貯湯量10L)4台 合計台数は合っているが仕様毎の割り振りが合いません。 機器表を正として宜しいでしょうか。	屋内設置型13号 4台 屋外設置型13号 2台 屋内設置型8号 4台 貯湯式 8台 合計：18台 で拾いを行っております。
		(電気設備)	
241		竣工後の電気主任技術者の費用は別途工事ですが、電気設備工事の着手から受電、引き渡しまでの費用も別途工事で宜しいでしょうか。	本工事とすること。
242	設計書 (新本館棟自火報)	内訳明細の中に【光警報装置制御盤1面】【光警報装置制御盤据付調整費1式】【光警報装置(天井取付型)23台】とありますが、自火報設備図内に見当たりません。図示にて設置箇所をご教示願います。	別紙資料を添付します。
243	E-002・012	E-002図において発電機の連続運転可能時間が72時間とあります。E-012図において燃料消費量34.1L/hの記載があり、950L油庫から運転時間を算出し	よろしいです。
244	E-008	屋外キュービクル下部設置の侵入防止用防鳥網は、SUS製と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。